



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4082 URL <https://www.dkkk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國部 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 敬一 (TEL) 06-6206-3311
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,325	4.9	437	△74.6	1,464	△50.5	582	△69.6
2023年3月期第1四半期	7,938	5.9	1,720	63.3	2,957	70.5	1,917	39.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △442百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 1,539百万円(△4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	23.94	—
2023年3月期第1四半期	78.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	67,364	35,320	51.5
2023年3月期	66,004	36,151	53.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 34,690百万円 2023年3月期 35,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	16.00	34.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	12.00	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	9.5	1,000	△70.9	850	△83.8	550	△84.1	22.63
通期	40,000	11.9	3,000	△44.4	2,700	△54.8	1,750	△56.5	72.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	24,400,000株	2023年3月期	24,400,000株
2024年3月期1Q	83,180株	2023年3月期	83,180株
2024年3月期1Q	24,316,820株	2023年3月期1Q	24,291,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	2024年 3月期 1Q実績		2023年 3月期 1Q実績		前年 同期比	2024年 3月期 通期 業績予想	
	売上高 比率		売上高 比率			進捗率	
売上高 (百万円)	8,325	100.0%	7,938	100.0%	4.9% ↗	40,000	20.8%
売上総利益 (百万円)	1,719	20.7%	2,929	36.9%	-41.3% ↘	9,500	18.1%
営業利益 (百万円)	437	5.3%	1,720	21.7%	-74.6% ↘	3,000	14.6%
経常利益 (百万円)	1,464	17.6%	2,957	37.3%	-50.5% ↘	2,700	54.2%
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)	582	7.0%	1,917	24.2%	-69.6% ↘	1,750	33.3%
償却前営業利益 (百万円)	1,069	12.8%	2,362	29.8%	-54.7% ↘	6,200	17.2%

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における世界経済は、製造業では、自動車関連で供給制約が解消に向かった一方で、巣ごもり需要の終息などにより通信デバイスや家電などの需要低迷が顕在化しました。また、OECD諸国の設備投資動向を示す実質総固定資本形成は停滞が続いています。世界の貿易量は、特にデジタル関連の取引が多いアジア諸国を中心に減少傾向となりました。一方、サービス業では、中国のゼロコロナ政策の解除に伴う経済回復が需要を押し上げました。インフレ率はエネルギー価格の高騰が一服したことを背景にピークを脱したものの、依然高い水準が続いています。

当社グループの主要顧客である自動車産業におきましては、半導体をはじめとする部品不足に伴う供給制約が解消に向かったことに加え、中国における新エネルギー車を対象とする税優遇措置の影響を受けて、2023年上半期の世界ライトビークルの販売台数は、前年同期比で10.7%増加しました。しかしながら、パワートレインの内訳としては、中国を中心に電動化率の上昇が見られました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高8,325百万円(前年同期比4.9%増、業績予想40,000百万円に対して進捗率20.8%)、販売数量が前年同期比で7.0%減となりました。営業利益は、販売数量の減少、前期に計上した戦略的に積み増しを行った原料市況等の影響を受けていない在庫販売効果の剥落等により437百万円(前年同期比74.6%減、業績予想3,000百万円に対して進捗率14.6%)、経常利益は、外貨建資産の為替差益等により1,464百万円(前年同期比50.5%減、業績予想2,700百万円に対して進捗率54.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益はベトナム子会社の旧工場の減損損失(特別損失)により582百万円(前年同期比69.6%減、業績予想1,750百万円に対して進捗率33.3%)となりました。なお、本減損損失は、当社グループのベトナム事業に良い効果が見込まれる相手との包括的な合意に基づき、ベトナム子会社の旧工場を譲渡する計画によるものです。

分野別の販売状況は、次のとおりです。

	2024年 3月期 1Q実績		2023年 3月期 1Q実績		前年 同期比	2024年 3月期 通期 業績予想	
	売上高 比率	構成比	売上高 比率	構成比		進捗率	
戦略分野 (百万円)	1,289	15.5%	1,203	15.2%	7.1% ↗	7,500	17.2%
半導体・エレクトロニクス (百万円)	435	5.2%	477	6.0%	-8.8% ↘	2,000	21.8%
エネルギー (百万円)	530	6.4%	460	5.8%	15.2% ↗	3,800	13.9%
ヘルスケア (百万円)	323	3.9%	264	3.3%	22.3% ↗	1,500	21.5%
自動車排ガス浄化触媒分野 (百万円)	5,174	62.2%	5,102	64.3%	1.4% ↗	25,100	20.6%
基盤分野 (百万円)	1,861	22.4%	1,631	20.5%	14.1% ↗	7,400	25.1%
合計 (百万円)	8,325	100.0%	7,938	100.0%	4.9% ↗	40,000	20.8%

・戦略分野（半導体・エレクトロニクス）

半導体用途は、販売数量は前年同期に届かなかったものの、付加価値の高い製品の拡販が進み、増収となりました。エレクトロニクス用途は、通信デバイス、家電など最終製品の需要低迷に伴い、販売数量で前年同期を下回りました。

これらの結果、半導体・エレクトロニクス分野における当第1四半期連結累計期間の売上高は、435百万円（前年同期比8.8%減、業績予想2,000百万円に対する進捗率21.8%）となりました。

・戦略分野（エネルギー）

二次電池用途は、電動車の増加による需要増に伴って販売数量を伸ばし、前年同期比で増収となりました。SOFC（固体酸化物形燃料電池）及びSOEC（固体酸化物形電解装置）用途は、販売数量が前年同期に届かなかったものの、原材料価格の変動に伴う販売価格の上昇により前年同期比で増収となりました。水素関連は、堅調に推移しました。

これらの結果、エネルギー分野の当第1四半期連結累計期間の売上高は530百万円（前年同期比15.2%増、業績予想3,800百万円に対する進捗率13.9%）となりました。

・戦略分野（ヘルスケア）

生体材料は、販売数量で前年同期に届かなかったものの、付加価値の高い製品の拡販が進み、増収となりました。医療機器用途は堅調に推移しました。

これらの結果、ヘルスケア分野における当第1四半期連結累計期間の売上高は、323百万円（前年同期比22.3%増、業績予想1,500百万円に対する進捗率21.5%）となりました。

・自動車排ガス浄化触媒分野

自動車触媒及び酸素センサーは、半導体をはじめとする部品不足の解消により、世界の自動車販売台数が前年同期を上回ったものの、中国を中心に、電動化に伴う需要減の影響を受け、販売数量は前年同期を下回りました。

これらの結果、自動車排ガス浄化触媒分野における当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,174百万円（前年同期比1.4%増、業績予想25,100百万円に対する進捗率20.6%）となりました。

・基盤分野

世界的に設備投資並びに粗鋼生産量が低調であった影響を受け、構造部材及び耐火物用途は、販売数量が前年同期を下回りました。ブレーキ用途は、自動車の電動化に伴う仕様変更などの影響を受けました。

一方で、ブレイジング（アルミ配管ろう付け）用途は、自動車向けで引き続き内燃機関車が主流となるグローバルサウス市場において旺盛な需要を取り込んだことに加え、家電向けではアルミニウム製熱交換器を搭載したルームエアコンの普及が進み、販売数量を大幅に伸ばしました。

これらの結果、基盤分野における当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,861百万円（前年同期比14.1%増、業績予想7,400百万円に対する進捗率25.1%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は67,364百万円で、前連結会計年度末に比べ1,359百万円増加しました。これは主に、仕掛品の増加（635百万円）、現金及び預金の増加（543百万円）、流動資産その他の増加（242百万円）によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は32,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,190百万円増加しました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加（3,272百万円）、支払手形及び買掛金の増加（524百万円）、固定負債その他の増加（328百万円）によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は35,320百万円で、前連結会計年度末に比べ831百万円減少しました。これは主に、為替換算調整勘定の減少（1,102百万円）によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末53.8%から51.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な高インフレ状況、米国経済減速への懸念等による経済ならびに社会の混乱が依然として解消されず、先行きが不透明な状況であります。当第1四半期連結会計期間においては、社内為替レート（対ドル）130円より実勢為替は円安で推移しましたが、今後の外国為替相場の変動もありうるため、2024年3月期の連結業績予想は、2023年5月12日に公表した連結業績予想から変更しておりません。

なお、当第1四半期連結会計期間で、外国為替相場の変動に伴い為替差益1,610百万円を計上いたしました。これは、主に当社で保有する外貨建資産・負債に対し発生したものです。為替差益のうちベトナム鉱山事業に係る長期未収入金での為替差益を252百万円計上しておりますが、当該長期未収入金には全額貸倒引当金を計上しているため、その為替差益と同額を営業外費用（貸倒引当金繰入額252百万円）として計上しております。またベトナム子会社への外貨建て貸付金に係る為替変動リスクに対するヘッジを目的としたデリバティブ取引を行っており、営業外費用（デリバティブ評価損）329百万円を計上しておりますので、実質的な為替差益は1,028百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,750	11,293
受取手形及び売掛金	6,623	6,571
製品	6,380	6,540
仕掛品	2,434	3,070
原材料及び貯蔵品	5,625	5,483
その他	2,173	2,416
流動資産合計	33,987	35,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,840	5,495
機械装置及び運搬具（純額）	4,932	4,056
土地	2,233	2,233
建設仮勘定	13,721	15,091
その他（純額）	584	563
有形固定資産合計	27,311	27,439
無形固定資産	1,280	1,081
投資その他の資産		
その他	6,363	6,659
貸倒引当金	△2,938	△3,190
投資その他の資産合計	3,424	3,468
固定資産合計	32,016	31,990
資産合計	66,004	67,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977	1,501
短期借入金	2,400	1,300
1年内返済予定の長期借入金	3,589	4,328
未払法人税等	1,104	473
賞与引当金	388	176
役員賞与引当金	96	96
その他	1,480	1,488
流動負債合計	10,036	9,364
固定負債		
長期借入金	19,240	21,774
退職給付に係る負債	2	3
その他	573	902
固定負債合計	19,816	22,679
負債合計	29,853	32,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	787	787
資本剰余金	1,175	1,175
利益剰余金	32,442	32,635
自己株式	△30	△30
株主資本合計	34,374	34,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332	417
為替換算調整勘定	680	△421
退職給付に係る調整累計額	134	127
その他の包括利益累計額合計	1,147	123
非支配株主持分	629	629
純資産合計	36,151	35,320
負債純資産合計	66,004	67,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	7,938	8,325
売上原価	5,008	6,606
売上総利益	2,929	1,719
販売費及び一般管理費	1,208	1,281
営業利益	1,720	437
営業外収益		
受取利息	10	34
受取配当金	11	14
持分法による投資利益	16	16
為替差益	2,090	1,610
助成金収入	1	2
その他	13	57
営業外収益合計	2,144	1,735
営業外費用		
支払利息	47	114
デリバティブ評価損	297	329
貸倒引当金繰入額	559	252
その他	3	12
営業外費用合計	907	708
経常利益	2,957	1,464
特別損失		
減損損失	-	346
特別損失合計	-	346
税金等調整前四半期純利益	2,957	1,117
法人税、住民税及び事業税	913	443
法人税等調整額	119	94
法人税等合計	1,032	537
四半期純利益	1,924	580
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,917	582

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,924	580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	84
為替換算調整勘定	△395	△1,111
退職給付に係る調整額	△1	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	30	11
その他の包括利益合計	△385	△1,022
四半期包括利益	1,539	△442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,525	△442
非支配株主に係る四半期包括利益	13	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません